

マグピタボード® 施工説明書

施工前に必ずこの説明書をお読みいただき、安全かつ正しい施工をしてください。

⚠ 安全に関するご注意

- 建築基準法・火災予防条例などの法令に従って施工してください。
- マグピタボードは環境の変化により伸縮の可能性がありますので、必ず説明書の施工方法に従って、施工してください。
- 必ず標準工法・注意事項に従って施工してください。
- 当製品は屋内でご使用ください。但し、浴室内や水を大量に使用する施設の壁面には使用できません。また、天井用途にはご使用できません。
- 高温多湿となる場所には施工しないでください。(剥がれ・浮きの原因となります。)
- 運搬・施工は2人以上で行ってください。(マグピタボードがたわむ原因となります。)
- 仮留めテープ・専用接着剤は弊社指定の『施工キット』を推奨致します。
- 下地施工は下地材料メーカーが指定する方法に従ってください。
- 家庭用加熱調理機器とマグピタボード表面は15cm以上離してください。15cm以上離せない場合は、熱により変色や焦げが発生する場合がありますため、防熱板を使用してください。
- マグピタボードの運搬・作業時には滑り止めの手袋を着用していただき、加工には防塵対策をとって保護マスク・保護メガネを着用のうえ、防塵丸ノコを使用してください。もし、粉塵が皮膚についたり、目、鼻、口に入った場合は速やかに水で十分洗い流してください。異常を感じたら、直ちに医師の手当てを受けてください。
- 接着剤は引火性がありますので、作業場所は火気厳禁としてください。
- マグネットの吸着力はご使用になるマグネットにより異なります。事前にサンプル等でご確認ください。

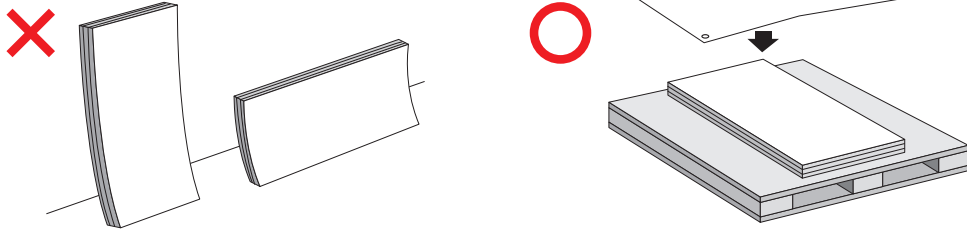
マグネシート®のパイオニア



大阪営業部 〒577-0002 東大阪市稲田上町1丁目18番11号 TEL.06-6744-0911(代) FAX.06-6746-7500
東京支店 〒136-0071 東京都江東区亀戸4丁目20番1号 TEL.03-5609-7191(代) FAX.03-5609-5304
札幌営業所 〒003-0809 札幌市白石区菊水九条3丁目2番18号 TEL.011-833-5801(代) FAX.011-833-5802
名古屋営業所 〒460-0016 名古屋市中区橋2丁目1番18号 TEL.052-332-2701(代) FAX.052-332-2703
広島営業所 〒733-0003 広島市西区三篠町2丁目11番1号 TEL.082-237-1861(代) FAX.082-237-1348
福岡営業所 〒812-0043 福岡市博多区堅粕1丁目26番18号 TEL.092-643-6235(代) FAX.092-643-6236
八尾工場 〒581-0082 八尾市相生町4丁目7番1号 TEL.072-990-1501(代) FAX.072-990-1502

在庫・保管について

- 直射日光や雨の当たる場所を避け、風通しの良い屋内に保管してください。
- 平らな場所でパレット等に平積みの上、シートをかけて保護してください。
- 立てかけは反りの原因となりますのでしないでください。



施工前の確認

- 施工前に品番及び、破損・傷等の確認をしてください。その後の責任は負いかねますので、ご注意ください。

下地について

適さない下地

- 湿気を含んだ下地、湿気を帯びる可能性のある下地。
- ALC躯体への直貼りはできません。
- RC壁面への直貼りはできません。
- 塗装面、壁紙面、化粧面への直貼りはできません。

施工可能な下地

- ・ プラスターボード(12.5mm以上)
- ・ ケイカル板(6mm以上)
- ・ モルタル面(不陸でないこと)
- ・ ラワン合板(9mm以上)
- 下地がモルタル板、ケイカル板、合板の場合はマグピタボードを貼りつける部分の全面にあらかじめシーラーを塗布してください。

下地の調整

- 下地は不陸のないことと、十分に乾燥していることを確認してください。下地に不陸がある場合はパテ等で平滑に仕上げてください。
- 見切材についてはカタログ掲載品を推奨致します。それ以外の部材(H型アルミジョイナー、入隅、出隅)についてはお問合せください。

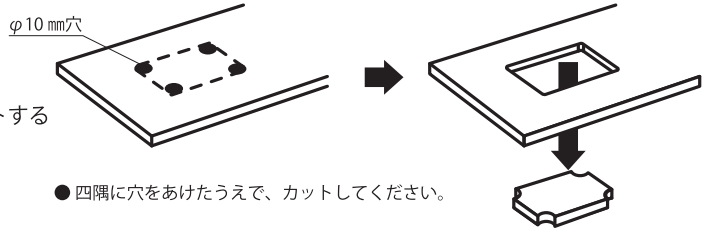
割付け・プライマー処理

- マグピタボードは突き付けしないでください。高湿度下で伸びて、突き上げを生じたり、低湿度下で収縮して隙間を生じる場合があります。平目地部材(H型アルミジョイナー)で納めてください。
- 必要に応じてプライマー処理を施してください。

加工について

コンセントなどの穴あけ

①製品表面からドリルで四隅に穴をあける

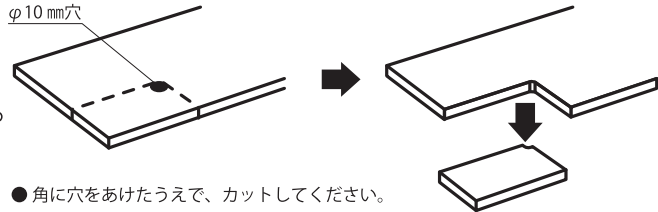


②製品裏面から小カッター又はノコギリでカットする

③カット面を面取りする

切り欠き

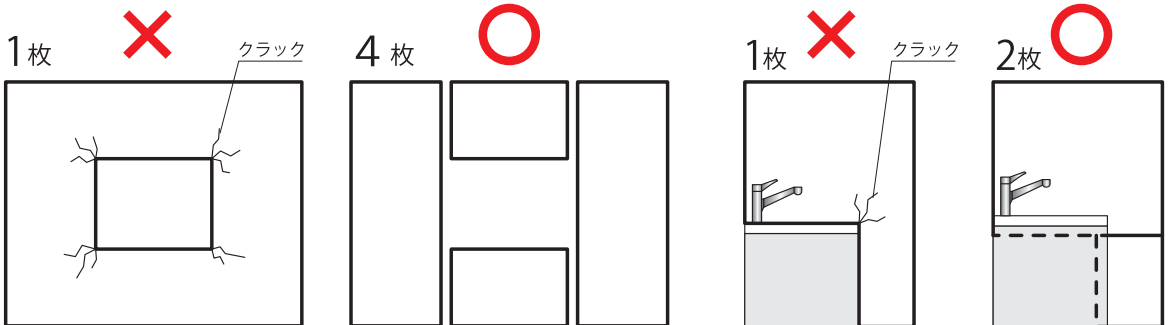
①製品表面からドリルで角に穴をあける



②製品裏面から小カッター又はノコギリでカットする

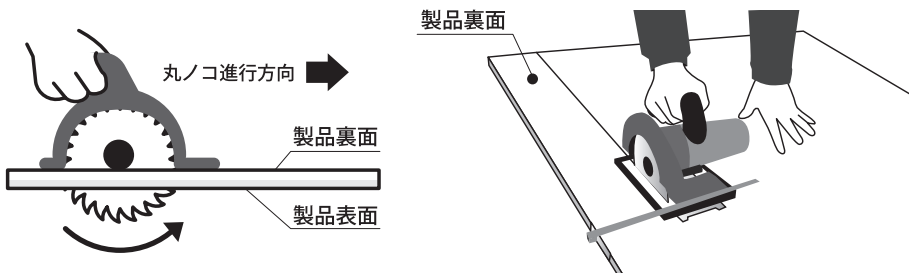
③カット面を面取りする

●切り欠き部が大きい場合や、ピン角でカットした場合、クラックが出る恐れがありますので、複数枚を使用した割り付けとしてください。



⚠️ カット加工する場合の注意点

- サンダーを使用しないでください。火の粉が化粧面に飛散し、取れなくなります。
- 表面の保護フィルムは剥がさずに、必ず裏面からカットしてください。
- 切断作業は屋外で行ってください。やむを得ず屋内で切断する場合は防塵丸ノコをご使用ください。



面取り

- 切断面は鋭利なため、必ずサンドペーパーやヤスリ等で面取りをしてください。
- 錆びにくい鋼板を使用しておりますが、切断面には防錆処理を施すことをお勧め致します。

施工方法

- 仮止めテープ・接着剤は弊社推奨の『施工キット』もしくは、同等品をお使いください。

【施工キット】

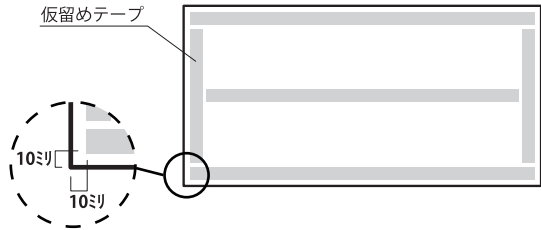
セット内容：接着剤2本、両面テープ2巻

※ 3×6板 2枚、3×8板 1枚に1セットが必要です。

※ マスキングテープ、コーキングが必要な場合は別途お求めください。

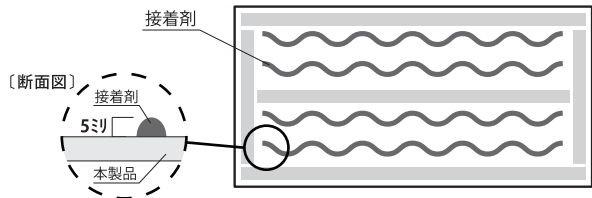
1 テープ貼り付け

- クリアランス10mmをあけて、仮留めテープを貼りつけてください。
- 仮留めテープは強く押さえて、密着させてください。



2 接着剤塗布

- 接着剤は高さ5mm程度で塗布してください。
- 気温が5℃以下の場合には施工できません。



3 貼付け・圧着

- マグピタボードを取り付ける際、中央に浮きが発生しないように注意してください。
- 貼付けは2人以上で行ってください。
- 仮留めテープが壁面に接着すると調整ができなくなります。
- 養生20℃の場合、24時間(目安)



お手入れに関する注意とメンテナンス

- 表面の汚れは柔らかい布かスポンジに中性洗剤をつけて、拭き取ってください。
- タワシ類及び、漂白剤・強アルカリ・弱酸性洗剤は使用しないでください。

